

コミュニティ・スクール(地域とともにある学校)

CS だより

富士市立富士第一小学校

令和6年3月12日

NO. 3

発行：CS事務局

富士第一小学校はコミュニティ・スクールとして、「かじま縁」を核とした「地域とともにある学校づくり」を進めています。令和5年度も、地域の皆様の御協力により体験的な学習の機会を増やすことができましたことに感謝申し上げます。来年度も子どもたちと地域の皆様との交流をさらに深め、みんなが笑顔いっぱいのまちになれば幸いです。今年度最後のCSだよりは、後期の取組を紹介します。

1年生 生活科「むかしのあそびに したしもう」—地域の方と一緒に遊ぶ—

令和6年1月16日(火)に、学校の体育館で地域の方と一緒に、けんだま、はねつき、まりつき、こま、お手だま、かるた、おはじきなどの昔の遊びをしました。富士駅北の区長会や、悠蓉クラブ、民生児童委員協議会を通じて協力してくださる方を募集しました。また、地域情報発信ツールを活用して、駅北のインスタグラムにも募集情報を掲載してもらいました。

お陰様で、当日は7名の方に御参加いただき、1年生は楽しい時間を過ごすことができました。子どもたちは、「楽しかった」、「また遊びたい」と、どの子も笑顔いっぱいでした。地域の方も、「久しぶりに小さい子どもと楽しい時間を過ごせた」と笑顔で帰って行かれました。1年生は、国語で覚えたひらがなや漢字を使って、後日お礼の手紙を書きました。手紙をもらった地域の方からは、改めて「楽しい時間をありがとう。」の連絡があり、「ありがとう」がバトンとなり学校と地域の間で何回も行ったり来たりしました。次回の交流へつながっていく期待感があふれています。



2年生 生活「あなたもわたしも えがおいっぱいのまち」その後

富士駅北の商店街の皆様にご協力いただき、まち探検に出掛けました。商店街の方々へインタビューをして、みんなが笑顔になるまちにするために自分たちができることを考えました。10月のかじま祭りには、富士市交流プラザの2階で学習の成果を発表し、多くの方々に見ていただきました。その後も家族で商店街を訪れ、食事を楽しむ姿がありました。2年生の学びを通して、商店街の皆様と交流が続いています。



3年生 総合（福祉）「やさしいまち かじま」まとめ

フィランセの社会福祉協議会から講師お招きし、アイマスク・白杖体験、車いす体験、高齢者疑似体験等を行ってきた3年生は、学習のまとめとして富士駅北地区に住む全ての人にとって「やさしいまち」になるにはどうしたらよいかを考えていました。盲導犬と一緒に暮らしている、日田さんにもたくさん質問をしました。日田さんからはビデオレターの形で子どもたちにメッセージをいただきました。子どもたちからも、声のメッセージを届ける予定です。



4年生 総合「救急救命」と図工「くぎ打ち トントン」

12月6日、防災の視点でまち歩きをして学習を深めてきた4年生は、富士駅北地区の消防第13分団から講師をお招きして、AEDを使った救急救命について学びました。心肺蘇生を体験した子どもたちは、一定の間隔で強く押し続けることの大変さを知りました。また、災害時に自分たちにできることを考え、真剣に話を聞いていました。



1月29日、図画工作科で「くぎ打ち トントン」の授業がありました。フジモクの愛称で親しまれている富士木材（株）から、専門知識をもった方を講師にお招きして、正しい金づちの使い方、くぎの打ち方を教えていただきました。教材は、フジモクさんから寄付していただいた富士ヒノキです。「木のいいにおい！」と子どもの歓声が上がりました。



5年生 総合（富士山の噴火）「備えよう災害に 守ろう大切な命を」

総合的な学習の時間に、富士山の噴火を想定して防災学習を進めてきた5年生は「備えよう災害に 守ろう大切な命を」と題して学習の成果をパンフレットやリーフレットの形にまとめました。災害発生時どう行動すべきか自分事として考え、自分の住んでいる地区の被害予測区や家庭での備蓄品について、家内の防災対策、家族の避難計画、ペットのための避難計画、避難所生活での心得などを丁寧に書きました。昨年12月3日の防災の日には、富士駅北の各地区へ配付して町内の皆様にも見ていただきましたが、さらに、今年2月13日に富士駅北まちづくり協議会主催で、駅北まちづくりセンター開かれた「富士駅北地区防災会議 2024」の会場にも展示してもらいました。



富士駅北まちづくりセンターインスタより

6年生「6年間過ごした学び舎やお世話になった方々に感謝」

